

河川整備の内容（治水）

治水の目標

- 観測史上最大の洪水である平成16年台風23号と同規模の洪水が発生した場合であっても、国管理区間の全川にわたり家屋等の浸水被害の軽減を図ることが可能となるような整備を行います。

整備の内容

- 下流部無堤対策
- 上流部無堤対策
- 遊水地
- 内水対策
- 堤防質的強化対策
- ↑ 国管理区間

整備メニュー位置図



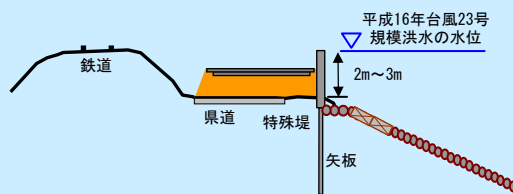
下流部無堤対策

狭いところに、住居や県道、鉄道がある左岸では、これらの移設などを避けるため、特殊堤を整備します。その際、美しい景観や豊かな自然が残る円山川のながめは出来るだけ損なわないように配慮します。

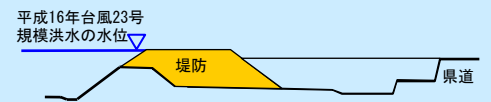
(瀬戸・津居山地区)



(ひの其他地区) (事業中)



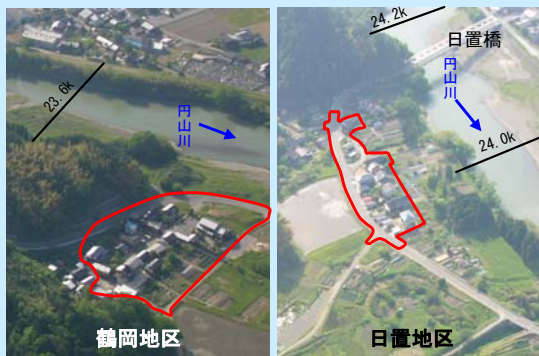
(戸島地区) (事業中)



上流部無堤対策

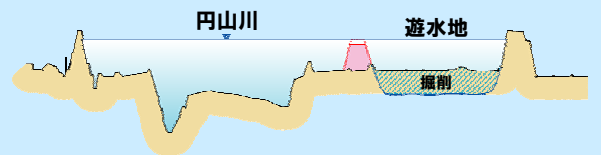
(鶴岡・日置地区)

現状の土地利用や過去に被災をくりかえしてきたという経緯を踏まえたうえで、早期の整備効果が発現されるような対策を検討し、実施します。



中郷遊水地

円山川下流部や豊岡市街地の河道水位の低減を図るため、中郷遊水地を整備します。整備は、湿地環境の再生と併せて実施します。



(日高地区) (事業中)

兵庫県による稲葉川上流部の整備や、豊岡市土地区画整理事業と一体的に堤防の整備を実施します。



国府地区内水対策

激特事業で着手した国府地区では、床上浸水被害の解消を可能とするための対策を実施します。

堤防質的強化対策

堤防の高さや幅は満足していたとしても、内部に水がしみ込んで堤防が弱くなり、決壊する危険性があるところがあります。このため、堤防を質的に強化して安全性を高める対策を実施します。

河川整備の内容（環境）

河川整備の目標

- 円山川の流れが生み出す良好な河川景観と、コウノトリをはじめとする多くの生き物を育む河川環境を守ります。
- かつて円山川にあった湿地などの良好な河川環境を再生します。

整備の内容

整備メニュー位置図



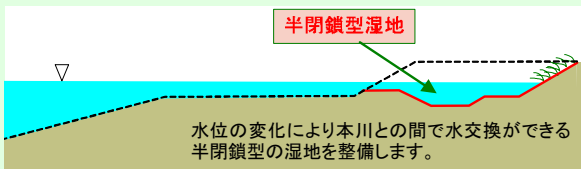
湿地の再生

河川内の土地に、大規模な湿地環境の再生などを行うことにより、かつてコウノトリが多く生息していた昭和初期程度の湿地面積(160ha程度)の確保と良質な湿地の再生を目指します。



湿地再生（加陽地区）の整備イメージ

湿地再生(中郷地区)の整備イメージ（中郷遊水地）



湿地の質的向上のための改善方法の例

礫河原の再生

日高地区の洪水対策の工事にあたっては、水際をなだらかに掘削するなどし、礫河原の再生を行います。あわせて、礫河原に接続する平水域の河床環境等の整備・保全に努めます。

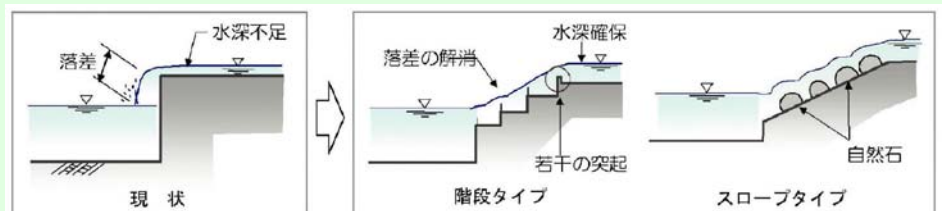


礫河原

連続性確保

河川内の構造物（井堰、水門、樋門等）が魚などの移動の支障とならないように、落差をなくします。

連続性確保のイメージ



河川整備の内容（河川管理）

■河川管理施設の機能維持

堤防、護岸、水門、樋門、排水機場等について、洪水、高潮等に対して必要な治水機能が発揮されるよう、平常時から巡視・点検等により異常や変状等の施設の状態を把握し、状況に対応して補修等を行います。



城崎水門での点検状況

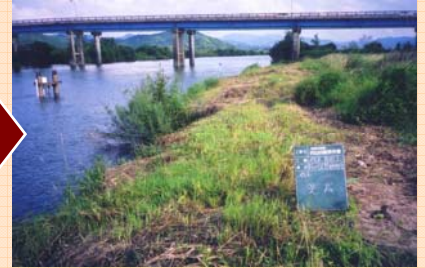
■河道内樹木・堆積土砂の管理

河道内の樹木や堆積土砂については、平常時より状況把握を行い、流下能力の阻害となる場合は伐採や撤去を行います。実施に際しては河川環境の保全に配慮します。

伐採前



伐採後



土砂撤去前

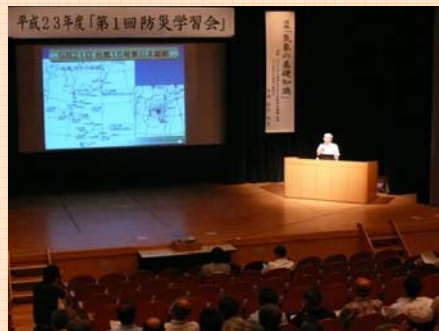


土砂撤去後



■危機管理

インターネットによる雨量・水位の情報提供や、携帯メールによる気象情報等の防災情報の配信を引き続き行います。また、地域の防災力向上のために、学習会やワークショップ開催の支援を行います。



防災学習会の様子



ワークショップによる地域防災マップの作成状況

河川整備の内容（利水）

- 流水の正常な機能を維持するために関係機関と連携・協力して、必要な流量の確保に努めます。

地域との連携

- 豊岡市をはじめ関係機関や地域住民、地域で活動している NPO などと連携し、自然環境の保全・再生や河川愛護活動等に取り組みます。

お問い合わせ先

国土交通省 近畿地方整備局
豊岡河川国道事務所 調査第一課

〒668-0025 兵庫県豊岡市幸町10-3
TEL 0796-22-3126（代表）